

## はじめに

企業と社会フォーラム (JFBS) 学会誌第5号は、「企業家精神とサステナブル・イノベーション」をテーマとした第5回年次大会での議論を踏まえ、その後の研究成果や企業事例をとりまとめ、さらに投稿論文を加え構成されている。

昨年までは書籍の形式で編纂してきたが、今回からジャーナル形式に改編し、巻末には第5回年次大会の記録や、この1年間の部会活動の記録も収録している。2012年の創刊号より千倉書房には継続して出版を引き受けていただいております、同社の学会支援に対して感謝の意を表したい。

持続可能性 (sustainability) という概念は、経済、環境、社会をトータルに捉え、現在世代が将来世代の要求を充足する能力を損なうことなく発展していくことを指す。JFBSでは持続可能な発展と企業活動にかかわるテーマを継続的に取り上げているが、第5回大会では、とくに持続可能な社会を構築していくにあたり重要な要素であるイノベーションがどのように生み出されるかということについて議論した。既存の大企業においても、さらに規模の小さいソーシャルベンチャーにおいても、社会的課題の解決に求められるイノベーションをどのように創出しスケールアップして行くか、そこで重要なポイントとなる企業家精神をめぐって議論を行った。このあたりの内容と年次大会のまとめについては、大室・雨宮両氏による「イントロダクション」を参照されたい。また同テーマ: Entrepreneurship and Sustainable Innovation は、Corporate Governance: The international journal of business in society 誌において特集テーマとして取り上げられ、昨年より Call For Paper が行われ、現在編集過程にある。

企業と社会フォーラム (JFBS) 第5回年次大会は、こういった統一テーマのもと、2015年9月10日 (木)、11日 (金) の2日間にわたり、早稲田大学にて開催した。今回の年次大会は、ベルリンでCSRに関する最大級のカンファレンスを開催しているフンボルト大学と、香港に拠点を置きアジアの企業家をネットワークしているCSR Asiaとの共催で開かれた。フンボルトCSRカンファレンスとの共同は、2013年の第3回大会以来2回目となる。さらに今回特筆されることとして、台湾と中国の研究者より Sustainable Finance に関する共同研究の報告申し込みがあり、二つの分科会で7報告がなされた。こういった学会の広がり方は、今後アジアとの連携を広げて行く動きとして有意義である。そのほかイギリス、インドネシア、オーストラリア、オーストリア、カナダ、タイ、ドイツ、ネパール、バングラデシュ、ミャンマー、ロシア、そして日本の学界、産業界、労働界、NPO/NGO、学生など約120名余りが参加し、活発な議論および交流が行なわれた。

本大会は、雨宮寛 (コーポレートシチズンシップ代表)、Nick Barter (Senior Lecturer, Griffith University, Australia)、Philippe Debroux (創価大学教授)、大室悦賀 (京都産業大学教授)、Joachim Schwalbach (Professor, Humboldt-University of Berlin, Germany)、谷本寛治 (早稲田大学教授)、Richard Welford (Chairman, CSR Asia, Hong Kong) がプログラム委員を構成し、大会プログラムの立案、プロポーザルの審査、企画セッションの司会等を担当した。

本学会誌では、本テーマに関する「イントロダクション」、「招待論文」2本、「企業事例・アンケート紹介」3本、さらに「投稿論文」1本が収められている。投稿論文に関しては、JFBS 編集

委員会（委員長 國部克彦神戸大学教授）による審査（double-blind review）が行われ、今回投稿された5本の論文のうち最終的に掲載に至ったのは1本であった。次号の学会誌に向け、積極的な投稿を期待したい。

2016年9月の第6回年次大会においては「社会的課題とマーケティング」(Marketing and Social Change)をテーマとして議論を行う。社会的課題の解決につながるビジネスモデル、マーケティング、さらにソーシャルプロダクトの開発、ソーシャル・コンシューマーの意識・行動の理解などについて議論していく予定である。今回は日本マーケティング学会の後援を得て開催することになり、研究者、実務家がより幅広く議論していくことが期待される（詳しくはJFBSのサイトを参照<http://j-fbs.jp/>）。

2016年5月

企業と社会フォーラム会長

早稲田大学商学大学院商学部教授

谷本 寛治